

## 博物館だより

第69号

2007.7.1

Nagano City Museum

## 体験！川中島の戦い2007

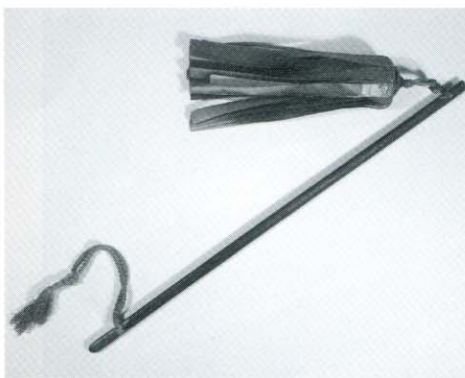
## 関連 特別公開 今月の逸品

6月9日(土)～12月2日(日) 常設展示室2階  
「川中島の戦い特設コーナー」にて

大河ドラマ「風林火山」の舞台もいよいよ北上してきました。博物館では川中島の戦いの特別企画展に合わせて、川中島の戦いに関わりの深い資料を、“今月の逸品”として、ほぼ月ごとに特別公開を行います。その一部を下記にご紹介します。資料が語る川中島の戦いともいうべき本物の展示にご期待ください。

- ◆入場料 大人 300円 高校生 150円 小中学生 100円  
◆休館日(常設展のみ) 毎週月曜日と祝休日の翌日

7月 小笠原長時所用  
采配(武田神社蔵)



▲武田氏の信濃侵攻前の信濃守護、小笠原家に代々伝わった采配。

8月 伝初鹿野伝右衛門所用  
黒塗六十二間星兜(大阪城天守閣蔵)



▲初鹿野家が武田信玄より拝領したとさる兜。銘「常州住早乙女家貞」

9月 伝上杉景勝所用  
甲冑(宮坂考古館)



▲上杉謙信の後を継いだ景勝の甲冑。兜の前立には飯縄権現他の神名が刻まれています。

夏休み

せんごくたいけん  
おや乙戦国体験

7月28日(土)～8月19日(日)

甲冑や槍、衣裳、ドラマの小道具などを使って、戦国体験をしてみませんか？本物の兜の重さを体験してみよう！



# いよいよ始まる！新自然史博物館の整備

茶臼山自然史館と戸隠地質化石館を統合した、新しい自然史博物館の整備がいよいよ本格的に始まります。昨年度に設計を終え、6月から工事に入りました。建築部門は榎宮尾設計、展示部門は東京大学総合研究博物館ミュージアムテクノロジー研究室が担当しました。

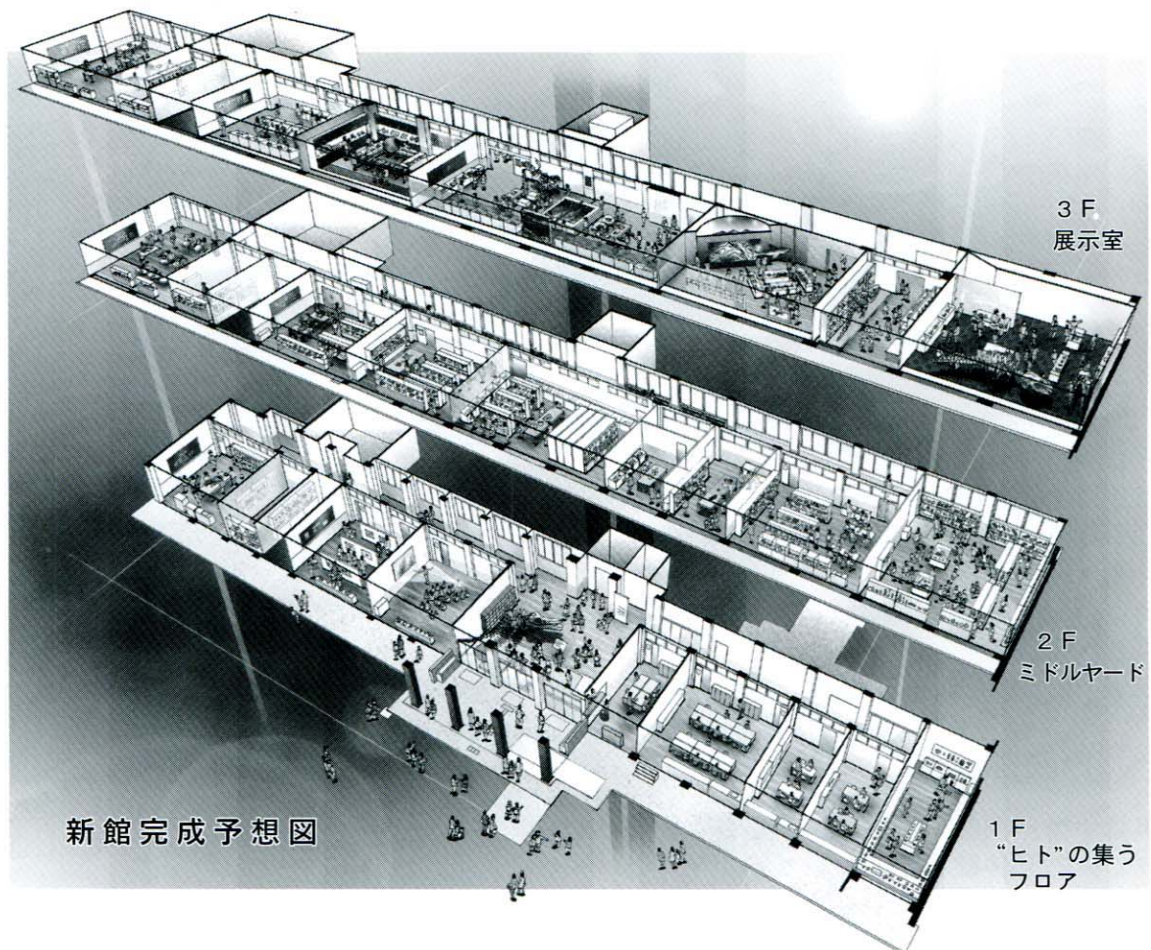
新館は、旧柵小学校の校舎を再利用したものです。鉄筋コンクリート3階建（昭和58年建築）、床面積約2600㎡の建物で、規模的には県下最大の自然史系博物館となります。この改築にあたっては、3つのポイント①ミドルヤードの考え方、②学校らしさを生かす、③地域に開かれた施設を意識しました。基礎になったのは「ミドルヤード」という考え方です。これまでの博物館は、展示室という表の部門（フロントヤード）と、収蔵庫や研究など裏の部門（バックヤード）の区別がはっきりしていました。それでは、博物館のもつ資料「モノ」の魅力や楽しさを、来館者「ヒト」に十分に伝えきれていない部分があったように思えます。そこで、今回の新館整備では、「ヒト」

が「モノ」と親しむ場をどう創りだしていくか、という点に配慮して設計がすすめられました。

まず、校舎の3階に展示室を配置しました。ここでは、戸隠から見つかる化石をスタートに、長野の大地がどのようにして現在の姿になってきたのかを学ぶためのものです。また、1階を職員や来館者など「ヒト」が集い、学ぶための場としました。そして2階を、「モノ」を収蔵・保管し、さらに「ヒト」と触れ合う場「ミドルヤード」と位置づけました。

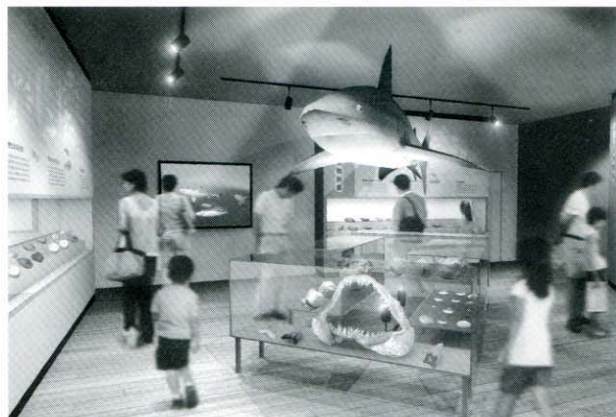
また、学校の雰囲気を残すようにも努めました。イスや机、本棚なども古いものを積極的に展示にも取り入れます。さらに学校資料室を設け、この校舎で学んだ思い出を今後引き継いでいきたいと思えます。地域の生涯学習の場としても利用していただけるよう、家庭科室や図工室は公開していきます。また、バリアフリーにも配慮し、多目的トイレやエレベーター等も整備されます。

(田辺 智隆)





▲新自然史博物館（旧柵小学校校舎）



▲展示室内予想図

## 市民向け説明会も開かれました

5月12日（土）には、柵小学校を会場に市民向け説明会を行ないました。地元の柵地区のみなさんを中心に60名以上の方が参加しました。当日は、教育委員会を代表して島田教育次長から挨拶があり、その後、展示設計を担当した東京大学総合研究博物館ミュージアムテクノロジー研究室の洪客員教授が館のあらましを説明しました。その後、校舎内を田辺の案内で見てもらいました。化石館から運んだ骨の標本類や学校資料を図書室等に展示し、ミドルヤードの雰囲気も味わってもらいました。校舎としての最後の公開となるので、卒業生たちが思い出に浸る風景も見られました。

まとめの会では、参加者から「予想以上の規模・内容の博物館で、今後多くの人に見てもらいたい」「地元の人が集い、楽しめるように運営してほしい」「今までの化石館のよさ、とくにモノとの近さを残してほしい」などの意見が出され、新しい博物館によせる期待の高さを感じさせられた会となりました。  
（田辺 智隆）



▲島田教育次長のあいさつ



▲図書室を使っでのホネの展示



▲閉校の新聞記事を見る卒業生



▲説明会のあとにはこんな落書きがありました！

茶臼山自然史館は、昭和60年9月に開館して以来23年目を迎えますが、戸隠地質化石館と合併して来年戸隠に新博物館をオープンさせるために、今年11月25日をもって閉館することになりました。

この閉館に合わせて、このたび企画展「茶臼山自然史館22年間の歩みと収集標本」を開催します。

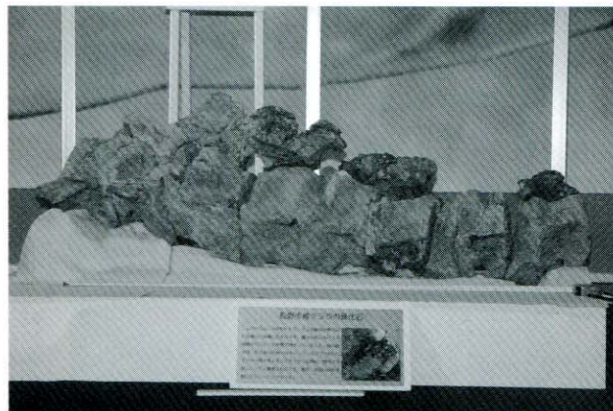


▲茶臼山自然史館

### 企画展

自然史館には、開館時から収集を続けてきた標本が2万点以上収蔵されています。その大半は大勢の方々からお寄せいただいた寄贈標本です。また、当館が実施した調査や採集活動によって収集した標本もあり、その中には小谷村産の恐竜足跡化石や七二会産のクジラ脊椎骨化石など、学術的に価値が高い標本も含まれています。

企画展では、普段は収蔵庫に保管されている標本を含めて多数の標本を展示すると同時に、



▲平成11年に発掘したクジラの脊椎骨化石

館の歩みを写真パネルで紹介します。自然史館を見学できる最後の機会でもありますので、ぜひ大勢の方々にご覧いただきたいと思います。

なお、内容の詳細については、次回の博物館だより自然史館特集号でご紹介します。

### 閉館までの行事

当館は、周囲を自然観察に適した公園と里山に囲まれていることから、主に子どもたちを対象にして自然と親しむ行事などをこれまでたくさん実施してきました。今年も閉館までの期間に様々な行事を企画していますので、ぜひご参加ください。なお、行事の詳細やお申し込みは茶臼山自然史館へお問い合わせください。

（畠山 幸司）



▲平成17年「バナナトラップで昆虫採集」

### これからの自然史館行事

- |          |                           |
|----------|---------------------------|
| 7/28・29  | バナナトラップで昆虫採集              |
| 8/17     | 光に集まる昆虫たち<br>(茶臼山自然植物園共催) |
| 9/ 8・15  | 親子恐竜クラフト教室                |
| 9/17     | 里山ハイキング・茶臼山<br>(博物館友の会共催) |
| 10/13・27 | 竹とんぼと炭焼き体験！               |
| 11/ 3・4  | 自然史館まつり<br>(博物館友の会共催)     |
| 11/17    | 茶臼山の化石採集                  |
| 11/24    | 化石のレプリカを作ろう！              |
| ※11/3～25 | 無料公開                      |